

図書波だより

第 45 号

平成8年6月28日
愛媛大学附属図書館

目 次

私のすすめる一冊⑥……………	1	開館時間の変更……………	6
附属図書館この一年(平成7年度)……………	2～3	学術情報システムの試験運用の実施 について……………	7
学術講演会を開催……………	3	自己紹介……………	7
平成7年度附属図書館統計……………	4	図書の長期貸出……………	8
平成7年度科学研究費補助金の研究成果 報告書……………	5～6	表紙について……………	8
附属図書館委員会委員……………	6	人事異動……………	8
附属図書館委員会……………	6	図書館日誌……………	8

私のすすめる一冊⑥

松 岡 淳

清張通史①～⑥ 松本清張著
(講談社文庫) 講談社

最近、古代史が静かなブームになっているようである。歴史に関しては全く門外漢である私がこのような事を書くのは誠に僭越であるが、古代史の面白さは、数少ない史料・物証を手掛かりに推理を積み重ね、史実を明らかにしていくという「謎解き」にあるように思われる。また、古代史では、推理の視点が各人各様であり、一つの事柄をめぐる数多くの説が生まれるという点も面白い。このような古代史の面白さを誰でも手軽に味わうことのできる本として、私は松本清張氏の「清張通史」をすすめたい。歴史書には史実に忠実なだけの平板なものもあるようだが、本書はきわめてダイナミックな内容のものとなっている。

まず、本書の最大の特徴はこれまでの常識

を覆すような大胆な仮説を数多く提示していることである。例えば、「女王卑弥呼は殺害された」、「北部九州は魏のコロニーであった」、「聖徳太子は蘇我馬子の傀儡にすぎなかった」等々実に盛りだくさんである。加えて、松本清張氏による論述は実に理路整然としており、まさに同氏の推理小説を読んだ後のような何とも言えぬ爽快感が残る。例えば、「聖徳太子傀儡説」に関しては、①当時の摂政は後世のような天皇の代行ではなく、いわば「天皇の助手」程度のもに過ぎなかった。②聖徳太子と蘇我馬子とでは、政治上のキャリア・貫禄・年齢においてあまりに差が大きく、加えて、太子は祖母の弟である馬子に対して萎縮せざるを得なかったであろう。③我々がイメージとして持っている「聖徳太子像」は、「日本書紀」によって意図的に神格化してつくられたものであり、書記に書かれている太子の業績は馬子の業績をすり替えたものであ

る、といった論拠をあげている。「史実」として、半ば常識的に我々の頭の中に入っていることが、実は為政者の都合によって捏造されたものであったことを示す一例であり、歴史を徹底的に検証すれば、このような事例はまだ他にも多々あるのではないかと、考えさせられた。

もう一つの特徴としては、歴史の背後にある人間模様を精緻に描いている点があげられる。私のような素人は「古代」というと、おろかで牧歌的なイメージを持ってしまいが、本書はその裏にある権謀術数も克明に描いている。とくに、皇位継承をめぐるの、天智天皇・大海人皇子・大友皇子らの権力闘争にはすさまじいものがある。天智天皇(中大

兄皇子)という、大化の改新の功労者としての印象が強いが、ここでは猜疑心が強く、目的のためには手段を選ばない冷徹な一面を持った為政者として描かれている。前述の蘇我馬子=大政治家、聖徳太子=傀儡という見方も共通するが、本書においては、感情に流されることなく、常に冷静な目で人間および歴史を捉えるという視点が貫かれている。

以上のような視点は、歴史学のみならず、すべての人文・社会科学において共通して求められるものである。このような意味で、本書は楽しめる一冊(六冊?)であるのみならず、私にとって実に有益なものであった。

(まつおか あつし 農学部

資源・環境政策学 助手)

附属図書館この一年(平成7年度)

末次 驍

附属図書館は、教育・研究活動に必要な資料を収集して、これを必要とする人に提供することを業務として来ました。この業務に関連した蔵書冊数及び貸出冊数等の主要な統計はこの「図書館だより」の4ページに掲載しています。勿論この業務は図書館の基本業務です。今後とも継続して行かなければなりません。

しかし、近年通信技術の飛躍的な進歩に伴い情報(資料)は各々の図書館に蓄積が無くても必要なときに取り出せる環境が整ってきています。いわゆる電子図書館への道を歩み始めたことへの対応が重要となってきました。したがって、この1年の間に従来の資料を収集して整理し利用者に提供する業務に加えて主に次のようなことを実施しました。

1. ホームページの開設とロゴマーク作成

図書館利用者へ向けての各種情報提供のためにインターネット上のWWWサーバにホームページを開設しました。掲載している情報は「附属図書館からのお知らせ」「附属図書館概要」「附属図書館利用案内」「附属図書館レファレンス」「LIBRARY GUIDE English ed.」等です。また、ホームページ開設に当た

りライブラリ・アイデンティティのためのロゴマークを新規に作成しました。

URL <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

2. 各係にマルチメディアパソコン導入とインターネット接続

業務の省力化への活用及び館内情報共有のほか、インターネット接続により有用な情報収集等を行うために各係にマルチメディアパソコンを配置して活用しています。

3. CD-ROMサーバシステムの導入

CD-ROM検索については従来スタンドアロン方式で利用してきましたが、医学部分館でのMedlineを中心とした利用が急増してきたため、図書館内端末及び学内LAN接続の研究室端末から24時間複数同時アクセスが可能なCD-ROMサーバシステムの導入を行いました。利用は平成8年度からで、当面提供できるデータベースは医学関係のMedline及び農学関係のAgricolaです。

4. インターネット利用のコンテンツサービス

図書館で集中管理している共同購入欧文雑誌について、各研究室等で希望されるタイトルについてはコンテンツをコピーの上配布し

ていましたが、平成8年1月からOCLC (Online Computer Library Center Inc.) が提供するContents Alertサービスを利用してネットワーク上の電子メールで提供することにしました。

利用者は118名で567タイトルのコンテンツサービスを実施しています。

5. 図書書誌データの遡及入力

教育研究学内特別経費の配分を受け和図書30,000冊の書誌データを遡及入力しました。

この結果、図書の入力データの総数は、325,000冊となり蔵書の37%はOPAC (Online Public Access Catalog: オンライン利用者目録)検索が可能となりました。

6. 総合情報処理センターとのレンタル一括契約の合意と次期システム仕様作成

図書館専用電算機は平成8年度の機種更新に向けて次期システムの仕様について検討を重ねてきましたが、学術情報基盤整備の進行で図書館の電子化等環境の変化に対応した図書館サービスをより充実するために学内情報処理施設である総合情報処理センターとの一括契約により一体化した電算機システムの導入を行い、新しい技術に対応した情報提供サービス基盤の構築を図ることとしています。なお、機種更新は平成9年度の予定です。

7. 学術講演会開催

職員研修を兼ねた学術講演会を2回開催しました。

第1回：平成7年12月12日『開かれた図書

館をめざして—すべての図書館をすべての利用者に—』講師 三重県立図書館長 雨森弘行氏

第2回：平成8年3月22日『大学図書館の新しい役割—学内で生産される学術情報の発信基地としての大学図書館—』講師 学術情報センター研究開発部 塚越美加氏、鶴岡弘氏

8. 医学部分館玄関の自動ドア化等営繕工事

医学部分館玄関の自動ドア化と本館書庫雨漏り防止工事を行いました。医学部分館玄関の自動ドア化は、図書を持ったままのドアの開閉や夏季・冬季における外気の遮断に有効です。

9. 学術情報ネットワークノードにATM交換機を導入

学術情報ネットワークノードにATM交換機が導入されたことにより、今後の大量かつ高速なデータ通信に威力を発揮することが期待されます。

10. 愛媛大学自己点検・評価報告書

平成7年度の愛媛大学自己点検・評価報告の一環として附属図書館では、1)組織と管理運営 2)施設・設備の整備 3)資料の収集・保存と整備 4)利用者へのサービス提供 5)学術情報システムの整備の5項目に亘り自己点検・評価の結果を報告しています。

(すえつぐ たけし 情報管理課長)

学術講演会を開催

附属図書館では、3月22日(金)に平成7年度第2回目の学術講演会を開催しました。

今回は講師に学術情報センター研究開発部の塚越美加氏並びに鶴岡弘氏を招き、「大学図書館の新しい役割—学内で生産される学術情報の発信基地としての大学図書館—」と題した講演会を開催しました。講演では図書館サービスの再検討

ということで現行サービスの見直し再検討を行い、大学図書館の価値を示す必要性が強調されました。また、情報の発信基地化ということで学術情報センターと鹿児島大学附属図書館が共同研究している大学紀要の電子化についての研究成果の報告があり、実際にWWW上で電子化した紀要を検索するデモを行いました。

平成7年度附属図書館統計

蔵書冊数

(平成8年3月31日現在)

区分	和漢書	洋書	計
本館	591,129 ^冊	242,045 ^冊	833,174 ^冊
医分館	37,741	46,713	84,454
農分館	83,469	21,481	104,950
計	712,339	310,239	1,022,578

貸出冊数

区分	教職員	学生	その他	計
本館	2,914 ^冊	57,453 ^冊	923 ^冊	61,290 ^冊
医分館	7,607	8,318	86	16,011
農分館	812	10,781	287	11,880
計	11,333	76,552	1,296	89,181

増加冊数

区分	和漢書	洋書	計
本館	13,839 ^冊	9,333 ^冊	23,172 ^冊
医分館	525	1,510	2,035
農分館	2,061	1,034	3,095
計	16,425	11,877	28,302

貸出人数

区分	教職員	学生	その他	計
本館	1,502 ^人	30,438 ^人	443 ^人	32,383 ^人
医分館	5,433	5,483	85	11,001
農分館	488	6,249	102	6,839
計	7,423	42,170	630	50,223

所蔵雑誌種類数

(平成8年3月31日現在)

区分	和雑誌	洋雑誌	計
本館	6,486 ^種	3,014 ^種	9,500 ^種
医分館	1,167	1,014	2,181
農分館	1,960	775	2,735
計	9,613	4,803	14,416

学外文献複写受付件数(現物貸借を含む)

区分	大学図書館	その他	計
本館	4,034 ^件	218 ^件	4,252 ^件
医分館	4,536	563	5,099
農分館	745	14	759
計	9,315	795	10,110

受入雑誌種類数

区分	和雑誌	洋雑誌	計
本館	3,709 ^種	1,702 ^種	5,411 ^種
医分館	630	542	1,172
農分館	822	323	1,145
計	5,161	2,567	7,728

学外文献複写依頼件数(現物貸借を含む)

区分	大学図書館	その他	計
本館	3,001 ^件	292 ^件	3,293 ^件
医分館	3,958	7	3,965
農分館	1,206	40	1,246
計	8,165	339	8,504

平成7年度科学研究費補助金の研究成果報告書

本学における平成7年度科学研究費補助金の成果報告書を図書館に備え付けました。

利用については資料サービス係へお申し込み下さい。

()内は課題番号

総合研究(A)

虚血ニューロン死の病態と対策 研究代表者：片岡喜由(05305006)

一般研究(A)

瀬戸内区における中新世の地殻深部異常高温帯形成過程の研究 研究代表者：小松正幸(05402021)

野生動物の重金属蓄積はどのようにして決まるか—その比較生物学を中心に— 研究代表者：立川涼(06405006)

一般研究(B)

高速磁気リコネクションの三次元モデリングと計算機シミュレーション 研究代表者：鶴飼正行(05455016)

高圧力マイクロ波プラズマCVD法によるダイヤモンド微粒子の作製に関する研究 研究代表者：八木秀次(06452162)

東京湾から太平洋への物質フラックスの季節変動 研究代表者：柳哲雄(06452438)

ベル麻痺の病因—ヘルペスウイルス説—の研究 研究代表者：柳原尚明(06454488)

角膜上皮特異蛋白の解析とその臨床応用 研究代表者：大橋裕一(06454497)

一般研究(C)

高血圧による臓器障害と治療によるアンジオテンシンII受容体遺伝子の発現 研究代表者：小原克彦(05670617)

PCR—クローニング法による新しい癌抑制遺伝子の単離・同定 研究代表者：木村茂(05671009)

脳脊髄液中に投与した各種虚血性脳障害治療薬の効果 研究代表者：新井達潤(05671268)

小児固形腫瘍における癌抑制遺伝子p53およびMDM2遺伝子の解析 研究代表者：高橋広(05671495)

好中球の活性化における細胞内情報伝達—真のセカンドメッセンジャーを求めて— 研究代表者：田村実(05680613)

現代中国における「諷刺芸術」の研究—中国漫才(相声)とロック(摇滚音楽)における諷刺の諸相 研究代表者：弓削俊洋(06610422)

赤外線集中加熱法を用いたユークライトいん石の分化過程の実験鉱物学的研究 研究代表者：森寛志(06640610)

アコヤガイが養殖されている内湾の一次生産機構 研究代表者：川端善一郎(06640819)

臨界形状近傍の角柱後流変動周波数の選択的制御 研究代表者：鮎川恭三(06650209)

光磁気記録の多値化に関する基礎研究 研究代表者：田崎三郎(06650419)

駐車場案内・誘導情報の評価のための交通システムシミュレーションモデルの開発 研究代表者：朝倉康夫(06650592)

有機ケイ素化合物の触媒的転換反応に関する基礎研究 研究代表者：山口力(06650891)

花色素によるペラルゴニウムの祖先種の検索 研究代表者：加藤正弘(06660036)

酵素処理による機械パルプの光による色戻り抑制に関する研究 研究代表者：橋燦郎(06660215)

本邦干拓堤防の地震時液状化に対する安全性に関する研究 研究代表者：吉武美孝(06660305)

パーム油産業廃棄物の実用的資源化 研究代表者：木場洋次郎(06660420)

神経筋接合部及び筋紡錘の形成に及ぼす接着並びに成長因子の相関について 研究代表者：出崎順三(06670025)

増殖因子による標的細胞での変異原・癌原物質に対する感受性亢進の機序 研究代表者：植田規史(06670229)

脳卒中発症者の生命予後および機能予後に影響を与える因子の研究 研究代表者：近藤弘一(06670421)

A B O式血液型の遺伝子型判定とその法医学

的応用 研究代表者：西向弘明(06670460)
 KL-6 重分子測定法の樹立と間質性肺炎に
 における臨床的有用性に関する研究 研究代
 表者：河野修興(06670618)
 内因性細胞成長因子によるヒト表皮ケラチノ
 サイトの増殖および分化調節機構の研究
 研究代表者：橋本公二(06670863)
 ヒト好中球シグナリングにおける55kDa/
 75kDa TNFレセプターの役割の検討
 研究代表者：大須賀洋(06671210)
 虚血脳における神経栄養因子の果たす役割に
 ついて(学習記憶障害の面より) 研究代表
 者：久門良明(06671396)
 腎尿細胞分泌尿蛋白の同定とその臨床応用
 研究代表者：岩田英信(06671596)
 加齢の嚥下機能に及ぼす影響に関する研究
 研究代表者：森敏裕(06671720)
 異種神経吻合, 神経端々縫合における中枢お
 よび末梢神経の再生に関する研究 研究代
 表者：村上信五(06671721)
 音楽表現における熟達過程の客観化に関する
 研究 研究代表者：田邊隆(06680255)
 希土類-鉄金属間化合物の鉄副格子の磁気異
 方性についての研究 研究代表者：神森達
 雄(06805003)
 感染肝細胞表面に発現するマラリア原虫特異
 蛋白分子の解析 研究代表者：坪井敬文
 (06807024)
 全膀胱移植モデルにおける組織学的検討
 研究代表者：大岡啓二(06807126)
 蝸牛病変の内耳インピーダンスに対する影響
 の研究 研究代表者：暁清文(06807134)
 試験研究(B)(1)
 蛋白質大量生産のための連続式無細胞合成装
 置の開発 研究代表者：遠藤弥重太(05558087)
 試験研究(B)(2)
 人工漁礁・リーフ等の設計指針と最適保全策
 の研究 研究代表者：大橋行三(06556038)

図書館委員会委員

(平成8年4月1日現在)

附属図書館長	高島庸一郎(9. 3. 31)
医学部分館長	植田 規史(9. 12. 15)
農学部分館長	宮内 定基(8. 10. 31)
法文学部	服部 義弘(9. 3. 31)
	三島 宣也(10. 3. 31)
教育学部	加藤 國安(9. 3. 31)
	三浦 和尚(10. 3. 31)
理 学 部	木村 浩(9. 3. 31)
	飯田 晋司(10. 3. 31)
医 学 部	安川 正貴(9. 3. 31)
工 学 部	渡辺 政広(9. 3. 31)
	村上 研二(10. 3. 31)
農 学 部	安部 武美(10. 3. 31)
事務局長	小原 孜郎

()内は任期

図書館委員会

平成7年度第2回附属図書館委員会

日時 平成8年3月1日(金) 15:00~15:45

場所 附属図書館視聴覚室

報告事項

- (1) 平成8年度大型コレクションの推薦について
- (2) CD-ROMサーバーシステムの設置について
- (3) 総合情報処理センターとの電子計算機賃借の一括契約について
- (4) その他

協議事項

- (1) 学生用図書のおすすめ額配分について
- (2) 平成9年度概算要求事項(予定)について
- (3) その他

開館時間の変更

夏季休業期間中(8月1日~9月30日)
 は、開館日時を以下のとおり変更します。
 開館日：月曜日~金曜日
 開館時間：9:00~17:00
 休館日：土曜日, 日曜日及び国民の祝日

学術情報検索システムの 試験運用の実施について

附属図書館では、標記検索システムの整備を進めてきましたが、この度正式サービス開始に先立って、下記のとおり公開の試験運用を実施しています。

1. 学術情報検索システムによるサービス

当システムは、附属図書館に設置したワークステーションに収納した学術情報データベースを、利用者の方が学内LAN(EUNET)を通して直接検索できるようにするものです。現在(平成8年5月7日)利用可能なデータベースは次のとおりです。

(1)MEDLINE(1966-現在)

米国国立医学図書館(NLM)が作成する医学・生物系の文献情報データベース。

70の国で発行される約3400種類の学術雑誌の掲載論文を収録する。これらの分野の研究には極めて重要な情報源である。

(2)AGRICOLA(1984-現在)

AGRICOLAは、米国農学図書館(NAL)および協力機関の最新受入資料から選ばれたデータベース。農学・農業全般・バイオロジー・エネルギー・気象・公衆衛生等の広範囲のデータが収録されている。

2. 利用および申込み方法

研究室等にある端末(パソコン等)から利用できます。また、図書館にも利用者用端末を設置しています。

利用についての詳細は、<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/HTML/db/dbhome.html>の「学術情報検索システムのご案内」をご覧ください。

3. 問合せ先

附属図書館情報管理課システム管理係

E-mail: dbadm@lib.ehime-u.ac.jp

TEL: 089-927-8842

FAX: 089-927-8846

図書館では、利用者の皆様方のお力添えで、ネットワーク対応のサービスを進めて参りたいと思いますので、よろしくご指導・ご協力をお願いいたします。

自己紹介

弘瀬 高久
(図書館専門員)

はじめまして。4月に高知大学から赴任しました。県外での生活は初めての経験ですが松山はこれまでに何回となく訪ねたことがあり、違和感は全くありません。

テレビづけの生活をやめて、週末には土佐の「はちきん」3人といろんな所に出かけて愛媛での生活を楽しんでます。娘たちは特に砥部焼の絵つけが気に入り、既に3回皿や茶碗に好きなものを描いてきました。

世の中の流れに乗り遅れないように対応するのはなかなか難しい時代ですが、微力ながらネットワークを利用したサービスの充実に努めてまいりますので、皆様方のご指導・ご協力をお願いいたします。

図書館スタッフのHome Pageもご覧下さい。私の場合、URLは「<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/~hirose/>」です。

自己紹介

神野 洋一郎
(情報サービス課資料サービス係)

はじめまして、このたびの異動で新居浜工業高等専門学校から赴任してまいりました神野です。

愛媛大学には、4年前まで工学部に3年間いましたので、城北キャンパスには私なりのイメージがあったのですが、正門付近及び図書館前の中庭の様子、グラウンドの工学部棟新築、組織では教養部廃止等と大きく様変わりしているところもあり、愛大も少しずつ変化しているんだと感じています。

ところで、これまで図書館業務を経験したことがなく、上司・諸先輩方に図書専門用語の解説から指導いただいているところです。カウンター業務である本の貸出・返却手続の際には、利用者の皆さんにご迷惑をおかけすることも多々あることと思いますが、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは、私は図書館入口に近いカウンターにいますので、気軽に声をかけて下さい。

「ジョークなら大歓迎します」

図書の長期貸出

夏季休業にともない本館及び農学部分館では、つぎのとおり長期貸出をします。本館は資料サービス係、農学部分館は情報サービス係で手続をして下さい。

取扱期間：7月17日(水)～8月30日(金)

貸出冊数：5冊以内

返却期限：10月7日(月)

表紙について

昭和51年12月の発刊以来20年に亘って「図書館だより」の表紙を飾ってきました題字と背景画を変更することにしました。

かつて「図書館だより」を通じて募集したこともあります。職員の手づくりをモットーに、題字は有馬(学術情報係長)が、背景画は済賀(事務部長)が担当しました。

絵はペン画によるもので、図書館の建物から望んだ松山城に、道後温泉方面に向けて飛び立つ鳥を配しました。現在は建物が高層化して城も見えにくくなりましたが、戦後50年近く城北キャンパスと図書館を見守ってきた天守閣です。

そこで、絵にちなんだ一句を添えて図書館の新たなスタートを期したいと思います。

見上げれば 萌ゆる若葉と 天守閣

Raising my eyes,
come into view

Fresh young leaves and Dungeon.

図書館日誌(会議、研修)

- 3月22日 平成7年度学術講演会
- 4月9日 平成8年度新生オリエンテーション
～10日 ヨン
- 4月25日 第44回中国四国地区大学図書館協議会総会(岡山大学)
～26日 第23回国立大学図書館協議会中国四国地区協議会(岡山大学)
- 5月9日 平成8年度第1回医学部分館図書・情報委員会
- 5月21日 日本医学図書館協会総会(神戸大学)
～22日
- 5月28日 国立大学附属図書館事務部課長会議(東京医科歯科大学)
- 5月30日 国立大学図書館協議会理事会(東京大学)